

第32号

2021年(令和3年)3月13日
東北地区屋外広告美術業組合連合会
啓発事業委員会 発行

事務局 仙台市宮城野区原町三丁目4番地10号
TEL 022-257-0437
mail miyakoubi@yahoo.co.jp

とうほく

AOMORI・IWATE・MIYAGI・AKITA・YAMAGATA・FUKUSHIMA

岩手県盛岡市高松の池



年頭のご挨拶

東北地区屋外広告美術業組合連合会会長 大戸 邦男

(福島県屋外広告美術協同組合理事長)
(福島県) (株)クリエィティブダイワ

二〇二一年の念頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。

げます。皆様方には昨年来からのコロナ禍の中で大変苦勞が多い年となった事と推察いたします。昨年の総会も書面決議にての開催となりました。今年もやむなく書面決議での開催となりました。この様な状況の中でも幾つかの事業は日程等を変更して開催されました。二転三転となりながらも事業開催にご尽力頂いた組合員の皆様と事務局の方々には感謝に堪えません。

今回の新型コロナウイルスは原因が特定されていますので今後のワクチン接種で少しずつ回復の兆しが見えて来る事を願うばかりです。

一九一六年から一九二〇年に猛威を振るったスペイン風邪では全世界での死者四千万人。日本は内地四五万人・外地二九万人と多くの犠牲者が出ました。第一次世界大戦(一九一四〜一九一八)の死者は一千万人ですからその数は半端ではありません。尚且つ、病原体が何であるかも分からず戦争を止る程の恐怖だったので。しかし今回は新型コロナウイルスの病原体は一週間で特定されたわけですから科学の進歩は素晴らしいものです。

スペイン風邪から百年後の現在、新型コロナウイルスを契機として物凄いスピードで社会が変化していることは皆様も実感されている事と思いますし、その変化のスピードに対応すべく会員の皆様も必死に考え行動されている事と思

います。

これからの経済状況を考えれば、産業資本主義から金融資本主義へそして今まさにデジタル資本主義に移行しております。我々業界においてもデジタル化は今後もハイスピードで進化してゆくと考えます。新型コロナ禍で当然のように行われ始めたズーム会議(打ち合わせ)などが典型的です。この変化を前向きに捉え行動することが大切です。

そこでこの難局を乗り切るためにも先ずは自分自身の体調管理が大切です。手洗い、うがい、マスクの使用。そして免疫を高める事です。

今年マキノ出版・石黒栄紀著「医師がすすめる長生き野菜スープ」という本をご紹介します。本の内容を簡単に要約いたしますとネギ、玉葱、トマト、ジャガイモ、ニンニク、セロリ、パセリの七種類の野菜を沸騰させた後、二時間半から三時間トコ火で煮込んで出来たスープを飲むという健康法です。このスープは紀元前四六〇年生まれのパポクラテスにあやかっけてヒポクラテススープと名付けられています。是非、免疫を高めてこの難局を乗り越えましょう。

結びに、今年も役員・会員の皆様のご指導・ご協力をお願い致しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

大型設備完備しています!

いろいろな素材に印刷可能!
ワークエリア: w1600×h∞(条件あり)×t40(mm)

UVインクジェットダイレクトプリンター

様々な飛沫対策用品をご要望に応じて製造・加工しております

30ミリまでのカットボードに対応!
ワークエリア: w1600×h3000×t30(mm)

大型カッティングルーター

アクリルの切文字や木材、紙の加工にも!
ワークエリア: w1200×h800×t20(mm)

レーザー加工機

あらゆる広告製品の「ものづくり」を提案してまいります。
看板・広告物に関する製作・材料選びは当社にお任せください。



〒990-2445 山形市南栄町1丁目1-56
TEL:023-632-2435 FAX:023-632-2438
E-mail:shop@craft-art.co.jp

レジャーに、お引越しに、工事作業に至るまで車のことなら何でも!!



エックスレンタリース北都株式会社

URL <http://www.x-hokuto.com/>

- 本社 TEL 022-385-6891
- 六丁目の目店 TEL 022-288-3711
- 長町店 TEL 022-304-5722
- 山形店 TEL 023-624-0151
- 米沢店 TEL 0238-23-4711
- 置賜店 TEL 0238-50-1516
- 福島店 TEL 024-545-7755
- 郡山店 TEL 024-935-3711
- 会津店 TEL 0242-33-3711
- いわき店 TEL 0246-25-5333
- 小名浜店 TEL 0246-54-5822
- 原町店 TEL 0244-26-5693

▶宮城県立仙台高等技術専門校について

宮城県立仙台高等技術専門校は、宮城県が設置している職業能力開発施設で、職業訓練を実施し、就職を支援します。創立は昭和39年で、令和2年度の普通課程は2年課程の機械エンジニア科、電子制御システム科、自動車整備科と1年課程の設備工事科、電気科、建築製図科、塗装施工科、広告看板科の8つの訓練科があります。広告看板科は、令和3年度より『サインデザイン科』に訓練科名が変わります。

▶サインデザイン科について

「サイン製作を通し、丁寧なものづくりと対話力を育てる」

法令上の名称：デザイン系広告美術科

訓練期間：1年

定員：10名

木枠製作を通して、基本的な道具の使い方と木工作業の基本を学びます



宮城県立高等技術専門校

白石 仙台 大崎 石巻 気仙沼

やるなら今だ!

ブラックジャックによろしく 佐藤秀峰

＊学校見学・求人に関するお問い合わせ先＊
宮城県立仙台高等技術専門校(サインデザイン科 担当指導員まで)
〒984-0032 仙台市宮城野区田子1-4-1
TEL:022-258-1151 FAX:022-258-5152

▶修了後の特典

- 1.屋外広告業に係る業務主任者
- 2.屋外広告物管理者
- 3.屋外広告物の点検資格者



宮城・広告景観タウンミーティングでは高所作業車に乗せていただきました



校内行事の看板を作成することもあります

▶主な訓練内容

看板製作・施工に関する基礎技術から実務に必要な幅広い知識の習得を目指します。

学科では、関係法規(屋外広告物法、建築基準法、道路法等)や製図、色彩、デザインの基礎を学びます。実技は、カッターやスキージ等の貼り道具やインパクト等の看板取付け工具、糸鋸やジグソー等の工作機械の安全な取り扱いを学びます。デザイン作業は、主にIllustratorを使って行い、カッティングプロッタやインクジェットプリンタの使用方法もあわせて学びます。広告美術の基本であるペイント文字描きも訓練します。筆や刷毛の手入れや塗料の粘度調整や調色はこれらの課題を行いながら習得します。

また、看板業を知り、職業意識を高めるために宮城県屋外広告美術協同組合にご協力いただき、3～5日間のインターンシップを授業に取り入れています。



糸ノコを使用してカルプ切文字の練習をしています。



毎年、宮広美組合さんのご協力のもとインターンシップを実施しています



技能検定シート仕上げ1級および2級課題の練習を通してシート切り文字や突合せ貼りを学びます

▶サインデザイン科学生ルール

1.クラスメイトを認め合う

さまざまな出身高校、年齢の方がクラスメイトになります。苦手な人、仲良くなる人いろいろいますが、相手を拒否したり無視をしたりせずクラスメイトとして認めるように学生に伝えます。

2.ゴミはゴミ箱に捨てる

みんながそれぞれ出したゴミをゴミ箱に入れば教室が汚れません。机上は常にきれいにするのを心がけます。

3.朝は「おはよう」帰りは「おつかれさまでした」をいう

朝は「おはよう」といって実習場に入り、帰りは「おつかれさまでした」と言って帰ります。黙っていたら、いるかないか分かりません。

▶指導員が心がけていること

1.ほめること

上手くできたときや良い態度のときは、しっかりほめます。自己肯定感を高め、製品の正しい基準を覚えるのに有効だと思います。

2.「ありがとう」をいうこと

学生をよく見ると、気がついて片付けをしてくれたり、学生同士でフォローをしていたりします。「ありがとう」は積極的に言います。

3.一定の機嫌でいること

いつも同じ機嫌でいることを心がけています。指導側の一方的な良くない機嫌は、クラスの雰囲気や学生の課題の出来に影響すると思っています。



出力、ラミネート、カットの連の作業を学びます



年1〜2回、県の施設内での校外実習を実施しています

▶なぜ、『サインデザイン科』に訓練科名を変更したのか

訓練科名は、昭和49年の広告美術科新設時から平成17年度までの42年間『広告美術科』を、平成18年度から令和2年度まで15年間『広告看板科』の名称を使用していました。平成20年あたりから入学希望者が減りはじめ平成25年には入学希望者が定員の50%になり、こんなに魅力的な職業であるのに、なぜ若者は振り向いてくれないのだろうと思っていました。若い人たちが興味を引く言葉をと考え、思い切って『デザイン』を入れることに決めました。『サイン』は、東北地区連と宮広美組合の皆様よりご意見をいただきました。これまで入学希望者が定員の50%を切っていたのが、令和3年度の募集は、希望者が定員の1.5倍となり、入学生が10名定員を満たすことができました。

入学を希望する若い方たちが自分なりに、『サインデザイン科』について「サインって始めて聞いたけど何だろう?」「サインデザイン科となっているけど、実際に作ったりもできるのか」と調べて受験されていたことも印象的でした。これからはさらにサイン業界が若者に注目されてほしいと思います。



令和元年の宮広美公共パネル作品展では、準市民大賞をいただきました

福島



十年の想い

福島県屋外広告美術協同組合 理事・啓発事業委員長 星 臣 (ホシトモ看板)

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から丸十年がたちます。

十年：「あつという間。」という言葉

しか思いつきません。避難生活・仕事激減・体調不良とこれまで経験したことのないことが一気に駆け巡り、震災の年に生まれた娘が今年で十才になることで改めて十年だと思ふところであります。

先日、「FUKUSHIMA50」という映画を観る機会がありました。東京電力福島第一原子力発電所社員の方々が震災当時、現場ですばらしい対応をしていたのだと知り、十年目にして東京電力に対しての考え方が変わりました。

私は、福島県南相馬市に事務所・作業場を構え、南相馬市を中心に仕事をしております。昨年からは新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威をふるい、私たちの地域でも影響が出てしまっている状況です。自分がかもし感染し周りに移してしまつたらという不安もあり、精神的にも緊張感が続いております。一日も早く終息を願うところであります。

さらに、新型コロナウイルスの影響でイベントの中止や延期が続く、仕事の

受注が減少しております。しかし、受注は減つてはいるものの新たな受注もあり、例年に近い状態で仕事が出来ているのが幸いです。

令和三年二月十三日に福島県沖を震源とする地震が発生しました。震度六強という東日本大震災がフラッシュバックの様に頭を過りました。津波がまたくるのではないかと、避難をしなればならないのかと思ひました。すぐ家族の安全を確認し、テレビをつけ

津波が来ないことを知りました。ホッと安心しましたが、しばらく余震が続き不安な夜を過ごしました。翌日、事務所・作業場を確認したところ、物や書類等が散乱し十年前とほぼ同じ状態でした。正直「またかよっ」って感じがして気が滅入ってしまいました。が、そんなことも言っておられず、一日を明けましておめでとございます。

昨年・今年と新型コロナウイルスが猛威をふるい未だ終息の目処が立っておらず、東日本大震災から十年目にしての震度六強の地震とこれから先どのよ

うな世の中になるか、不安でしかありません。この不安をチャンスに変え、何が出来るか、どんな行動をとればいいのかを改めて考えさせられ、これからの

仕事に取り組んでいきたいと思ひます。

最後まで乱文をお読み頂きまして誠にありがとうございました。

事務局便り

明けておめでとございます。昨年も東北の組合員様、事務局様には色々ご指導と助言をいただき、如何にか一年を終えることができました。

さて、昨年の当組合通常総会を開催後、新型コロナウイルス感染について毎日ニュースが流れています。今までは遠い場所での出来事と思つておりましたが、今では近所でも感染する方が出てきました。老若男女関係なく、2、3週間の拘束、死者まで出てきている現状を知ると改めて怖さを感じます。昨年とはすっかり変わり、今年の総会は書面決議を迷い無く選択せざるを得なくなりました。

しかし感染終息が見えない中において、怖さを素直に自覚し、本年も感染や経済的支援等の役立つ情報を組合員の方々に周知していただけるよう努めていきたいと思ひます。

最後に一日も早く平穏な日常が取り戻せることを祈念して挨拶と致します。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局長 本田 律夫

今の保険見直し必要では!

現在ご加入の保険で全て足りていますか? 補償は大丈夫ですか? 企業・従業員様は守られていますか?

取扱保険商品

- ・屋外広告物総合保険制度 ▶ 令和2年3月1日より屋外広告物保険制度に「点検業務保険」が自動付帯! 目視点検の不備も担保致します!
- ・事業所生命共済
- ・無記名傷害保険
- ・医療・がん保険
- ・所得補償保険
- ・一般賠償・自動車保険・火災保険・傷害保険等

保険は進化しています!今こそ見直し安心できる保険を見てください。日広連の保険につきましては、下記の代理店までご一報下さい。



日広連保険取扱代理店
有限会社 アールエージェンシー

〒130-0014 東京都墨田区亀沢1-17-14
TEL 03-3626-2233
FAX 03-3626-2255

デル (DEL) ライト III

直管LED 電源別置型 (1灯・2灯用)

3年保証
内照看板用直管LED

キョーワ

電源 (アルミケース)
防水性能: IP65相当
電源: Made in Japan

40W・32W・30W・20W
フルラインナップ

TYPE

LEDサイン球

彩光球

1年保証
※青、緑は受注生産品
明るい・きれい・使いやすい

LEDモジュール

3年保証

(DC12V, AC100V)
各種モジュール
(DC12V, AC100V)
レンズ式 e+c対応

広告電気照明メーカー
協和電工株式会社

〒547-0041 本社 大阪市平野区平野北1丁目7番12号
TEL (06) 6792-5000
FAX (06) 6792-5255
〒144-0052 Tokyo office 東京都大田区蒲田1丁目1番7号602号室
TEL (03) 5480-5003
FAX (03) 5480-5004

[HOME PAGE] <https://www.kyowadenco.co.jp> [E-mail] kikaku@kyowadenco.co.jp

山形



もとなりくんと伝説のスイカマン

山形県屋外広告美術協同組合 理事 三浦好昭
(有限会社泉デザイン工房)

私が生まれ育った尾花沢市は、花笠踊りの発祥地で、徳良湖の築堤の時にできたものです。(今年で百才の記念の年になります。)又、東北では、一番人口の少ない市(二万五千人)であり、この冬も二mを超えた豪雪の地で過疎化が激しいまちです。でも、自慢のものがあります。夏すいか日本一の尾花沢西瓜は、全国へ夏の贈り物としておいしいを発信しています。

今回は、私が大好きなこの尾花沢西瓜の話を書きます。根元に実った最初の西瓜は、大きくなると形が悪く、中に空洞ができて商品にならないというところで、摘果して捨てられる運命のこの西瓜は「元成西瓜」と呼ばれています。本当は、太陽と大地からの栄養いっぱいもらうので、「一番おいしい西瓜なのです。私は、三十年前に「形じゃないよ中身だよ!」と物語をつくり、「もとなりくん」と名付けて西瓜のキャラクターをつくりました。

最初は、Tシャツ、タオル、ステッカーとイベントで発表PRしながら、市内のいたる所に「もとなりくん」のキャラクターを使い、尾花沢に来た人には西瓜のまちをアピールしたのです。でも、それだけでは物足りず、着ぐるみを作りました。

そして遂に、TVチャンピオンの「ゆるキャラ王選手権」に出場する事ができ、全国放送によりゆるキャラ図鑑、雑誌、カレンダー等色んな所からオファーがあり、着ぐるみの出張が全国から問

い合わせがあり、図に乗って貸し出しするやボロボロになって帰ってくる「もとなりくん」を見て、丁度、二十才の時にもつと社会のために活動宣言すると、ゆるキャラ卒業を決めました。

「もとなりくん」は、世界の舞台で活躍する事になりました。実は、なでしこジャパン前監督佐々木則夫氏は、尾花沢出身で同級生だったので「なでしこ」を応援して来ました。五年前のカナダワールドカップは、連覇に向けての戦いであつたが、これが最後かもしれないのでカナダに応援にこないかとの事でした。

大会前の尾花沢に帰ってきた時の話、「監督!世界大会は、どんな応援をしているんだ?」と聞いてみたら、「三浦は西瓜だべ!」「え?俺は西瓜か?」私はこの一声で西瓜になろうと決めたのです。全身西瓜の衣裳を作り最後に胸には、「もとなりくん」のぬいぐるみを付けて「スイカマン」の完成です。

いよいよカナダバンクーバーに着き、ホテルで変身!タクシーで会場近くまで降りるや、外国人皆が指さして手を叩いて笑い、思わず俺も笑ってしまつた。そしたら笑った奴らが一緒に写真を撮つてくれと寄つてくるのである。

ようやくスタジアムに入るも、「スイカマン」のような人は、誰一人いないので一番目立つのであつた。極めつけは、空中にワイヤーが何本も張られていてカメラがすごい早さで動いているのである。遂にやって来た「スイカマン」の前でピ



タツと止ま ったのである。このカメラも俺を見て 笑っているのだらう。俺は、めいっばい手を振り、日本国旗を振りアピールしたのだ。すると、ブラジル、ヨーロッパの応援団が寄つてきては、握手をして写真撮りだ。これも国際交流で良いのだが、「スイカマン」効果は、サッカー以上に盛り上がった。

日本に帰つて来てからは、負けたら終わりの決勝トーナメント。尾花沢市では、毎回朝方パブリックビューイングで大応援。全局のカメラマン、新聞記者が大勢取材。やっぱり「スイカマン」と「守護神もとなりくん」がいつも一緒になっていた。

遂に決勝戦「アメリカ」との戦いである。俺はいつも一番早く来て応援の準備をするのである。横断幕、応援旗、太鼓をおろし、トイレで「スイカマン」に変身!ところが、「守護神もとなりくん」が見つからない。どこにやつたの、忘れたのか、いつもと違う空気を感じた。もう時間がない、とりあえず俺だけで...と応援に臨んだが、試合早々「なでしこ」は3点たて続けにとられてしまった。結局負けたのである。俺の動揺がまんま当たってしまった。ただ「もとなり伝説」はまだ続く。

「もとなりくん」は、今最初に話をした徳良湖にあるスイカカフェに次の出番を待っている。ここには、徳良湖ヨッククラブや全日本すいか割り選手権大会の会場でもある。ぜひ、夏には遊びに来て下さい。

最後に、大戸地区連会長と新庄で初めて会つた時、「実は祖父は尾花沢の生まれなんだ。」と言われびっくり。運命を感じた。



<http://www.c-daiwa.co.jp>
株式会社 クリエイティブダイワ

事務局便り

去年は本当に雪が少なく過ぎやすかつたので、今年も雪が少ないことを願っていたのですが、今年は雪が多くてそう思い通りにはいきませんね!
コロナの影響で、ほとんどの行事は中止!...

去年は唯一行事として行ったのは、今後のタウンミーティングについて話し合いました。

早くコロナがおさまり、通常通りの生活に戻れることを願うばかりです。

どうなるかわかりませんが、私としては元気をもらえそうなオリンピックが見たいです。

今年もよろしくお祈りします。

事務局員 中川 順子

秋田



「至福の時」

秋田県屋外広告美術協同組合

理事 啓発事業委員長

照井 勉

(テルイカンバン有会社)

うつすらと、漠然と、こうゆう時が来るとは予感していたが、還暦が過ぎたあたりから体に縄でもかけられたようにグイグイと加速度的に時間の流れが速くなり古希も過ぎた。少しは体のことも考えゆつくりランやウォーキングもやっつてはいるが、年齢は正直なもので、あちこちが痛み出す。少しでも無理をするときめんだ。

ちを加えると結局八十人位の人達の顔を描いていた。ジャズマンを描く時はその人の曲を聴きながら描いた、至福の時とはこんな瞬間だと思った。描いているとその人の息遣いが聞こえてくるようなそんな気持ちにもなっていた。

さて体の事はさておいて、心とか精神の方はどうなっているか。いつも何か図画を描いていないと気持ち定まらない。今までは色々としりぞみみたいなものを考えて描いてきた、クレヨンで描くことに凝ったこともあるし、電柱やその周辺の配線の形が面白くて夢中になったこともある。

描き終えて気が付いたのだが九割近くの人達が故人だった。あともう一つ面白い現象が起こった。描こうとした中に三人だけ挑戦しても描けない人達がいた。キリストとお釈迦様、もう一人がゴッホだった、生前のゴッホの写真を一枚だけ知っていたが、あの何枚も描いた独特の自画像とは全然別人に見えるので、ゴッホの自画像を基に描いてみたけど無理だった。

とにかく素人の遊びだから、スタイルを決めないでいろんな描き方をやって来た。ただし何十枚か描いているとネタが切れ嫌になつてしまう、飽きてくるのだ。それで昨年のも二頃頃からあるシリーズを考え付いた、それは今まで好きで読んできた作家や詩人、好きな画家、音楽家。大げさに言えば今まで生きてきた人生で世話になった人達の顔を描くということだった。

人の顔の図画を描き始めたのは高校生のあたりか、勉強のつもりで沢山描いたものだが、そのうちに人の顔程難しいものはないと分かり、具象から逃げるように抽象画を主に描くようになっていた。だから今回の試みは五十数年ぶりという事になる。難しかったけど楽しい数か月間だった。ちなみにこの程度のモノは今の中学生でももつとまぐ描ける時代になっている。しかし前述のように別に似顔絵のようにはなく、好きな人を描いているその時間こそがオレの求めたものだった。

百人の人達の顔を描くことを目標にしたが、五十人位で終わった、さてと考えたが、好きとか嫌いとかではなくこの世の中で偉大な人を探してみた。そういう人た

照井勉



秋田県屋外広告美術協同組合賛助会員

● 中村塗料販売株式会社

秋田市寺内蛭根 3-24-15 TEL 018-863-2005

● 株式会社丸和商会

秋田市東通 6-9-4 グランデール東通101号 TEL 018-874-8731

● (株) システムアート

秋田市外旭川字田中 43-3 TEL 018-863-7514

事務局便り

今年は、コロナの影響でいろいろなことがありました。雪もすく降りました。寒波で停電もありました。考えると嫌なことばかり多かったです。秋田県は、他の県と比べ、コロナの方はだいぶ少ないです。それでもスーパーなどへ行くこと、マスクをしていない人は見かけることがないくらいになりました。おかげで、口の周りの肌が荒れて大変です。夏のマスクは地獄のようでしたね…

でも悪いことばかりでもありませんでした。自粛している間、運動して5キロやせることに成功しました。悪い事ばかりでなく、少しでも前向きになれることを探して毎日楽しく暮らしたいと思っています。

事務局員 小林 明子



コロナ禍のカーラツピング講習

青森県屋外広告美術業協同組合

理事・青年部部长

丸谷

志穂

(株式会社イーアンドエム)

1年ぶり2度目の出場、いや登場の丸谷です。組合員の方に依頼するのをすっかり失念していて、気づいた時には締切過ぎていたので、ここぞとばかりに啓発委員長長の職務を全うするべく筆をとりました(笑)

さて令和2年は、世界中に禍を撒き散らしたヤツの所為で、全ての活動が制約され、我慢することに慣れていない現代人には戸惑うばかりの1年だったと思います。そこで、

「欲しがりません、勝つまでは!」の精神です。

その大変な年、色々な行事が中止・延期になる中で、11月7日に青森市の青森高等技術専門校に於いて、主催・青森県職業能力開発協会、協力・青森県屋外広告美術業協同組合による「広告美術仕上げ技能士フォローアップ講習」を開催いたしました。内容はカーラツピング作業についてです。講師には日広青連でもお世話になっている、日本カーラツピング協会会長の荻谷伊氏をお招きして、氏曰く1日ではとても時間が足りない内容で1日に詰め込んで教えていただきました。個人的には前日の方がある意味、内容が濃かったです(笑)

東北人は寡黙で真面目ですからね。これが参加者みなさんの糧となれば、このコロナ禍の中わざわざ来ていただいた荻谷さんも、企画したわたしも、開催に向けて骨を折っていただいた青森県職業能力開発協会の市川さんも大喜びですよ。



内容の詳細は参加者のみぞ知る!です。そうそう簡単には外部に教えませんよ。なんでもでもそうですが、人生死ぬまで勉強です。青森の青年部のみならずもつと積極的になってほしいと常々言っていますが、残念ながら東北人は寡黙で真面目ですからね(笑)人から聞いた聞きずるとかではなく、自分の目と耳と体で感じて覚えてほしいです。

なお、前日は朝こっぴやく到着した荻谷さんを迎えに空港へ行き、「遅い!」とお叱りを受けつつも、アオモリハジメテーな氏に運転をさせて、青森観光をしました。八甲田山、城ヶ倉大橋、三内丸山遺跡、味噌カレー牛乳ラーメンなどなど。わたしも初めてのところばかりで



最後これは親会の行事でしたが、手伝ってくれた青年部員にこの場を借りてお礼を言いたいです。ありがとうございました。これ見ないとと思うけど(笑)

事務局便り

遠くにいる家族・親戚・知人・友人に会えなくなつて、もう一年近くになります。マスク不要の生活を心待ちにしていたですが、今はマスク着用でもいいから、会いたい人に、会いたい時に会えたらどんなに良いだろうと思つたようになります。当たり前ですが普通に出来なくなつた「コロナ禍の今、あの頃が懐かしいです。」

青広美の役員会で、初めて、リモート会議なるものを体験いたしました。全部、理事長から準備をして頂き、役員の方とパソコンの画面上で顔を合わせての会議、何とも不思議でした。こんな状況でなければ決して出来ない体験だったと思います。

今年度の東北大会が中止になってしまいました。秋の合同会議と公共キャンペーン作品展が開催出来ますように願わずにはられません。どうか再会できるその日まで、皆さん、お体ご自愛下さい。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

事務局員 野月 幸子

オリジナルシート見本帳

オリジナルシートライブラリー vol.7

屋内外用のマーキングフィルムをはじめ、木目調塩ビシート、メタリック&ホログラムシート、屋内用化粧シート、ガラス装飾シートを収録!



ローコストが嬉しい
屋内用化粧シート

細かい模様もくっきり!
オンデマンド印刷対応床材

平滑面に貼ってはがせる!
屋内用ガラス装飾シート

ディスプレイ床材現物カタログ

カルテックス vol.2

カラーバリエーション豊富なパンチカーペットをはじめ、オンデマンド印刷対応品や人工芝などのディスプレイ用床材を多彩にラインアップ!

TOTAL DISPLAY 株式会社 **パック** 〒136-0071 東京都江東区亀戸 1-28-6 タニビル 4F
TEL 03-5609-7600 FAX 0120-03-3711
http://www.kinugawa.com/pack info@pack-display.com

岩手



私の趣味

岩手県屋外広告美術業協同組合 青年部員 熊谷 峻
(有限会社 岩手広装)

私がネオン看板屋をやっている父の仕事を手伝うようになって、早いもので十数年が経ちました。年月だけは経ちましたが、まだまだ分からないことだらけです。

昨年は新型コロナウイルスの影響もあり、だいぶ仕事が減ってしまいました。その中でも、花車の製作で毎年関わらせていただいていた「盛岡さんさ踊り」が開催中止となったのは、私がこの仕事をやってみたくと思うきっかけとなったお祭りでもあっただけに、とてもショックでした。さらに、岩手でも感染者が確認され始めて、改めて新型コロナウイルスについて意識するようになりました。

好きで、よく付録付きのテレビ雑誌などを母に買ってもらい、その付録を自分で作って遊んでいました。そんな私が中学生の頃、テレビで放送していた「ガングラム」のプラモデルがハマるきっかけ

完成した時の感動は今でも忘れられませんが、それからいくつか作っていくうちに、ただ組み立てるだけでは物足りなくなり、専用の塗料を使ったペイントにも挑戦するようになっていきました。全体的な塗装ではなく、色が足りない所を筆やマーカーで塗る部分塗装と、部品の凹凸や溝に色を着けるスミ入れだけですが、これだけでもかなり仕上がりが良くなると思っています。

最初はコンビニやスーパーで売っていた、五百円しないくらいのも簡単なものを作りました。当時はニッパーを使うこともなく、部品の切り出しは手でとる、もしくは爪切りで切るとい

気がつけば完全に夢中になってしまい、一日中組み立てていることもあり、自分で納得のいく仕上がりになるまで先に進めない性格なので、完成させるまでにかかり時間がかかってしまうのです。

今思えばとんでもない作り方をしていた。バリ取り(ゲート処理)なんてもちろんしていません。出来上がりも説明書通りにただ組み立てて、シールを貼っただけのいわゆる素組みというものでした。それでも、ただ観ているだけだった画面の中の存在が、自分の手で形になっていくのはとても楽しくて、

昨年は、新型コロナウイルスの関係で外出しづらくなつて、友人と会う機会が減ってしまい、休日の過ごし方が変わりました。そんな中でもこの趣味は影響を受けづらかったのでよかったのかなと思います。日々の仕事の中でも、ネオン制作などに必要な集中力等が鍛えられた



子どもの頃からなにかを作るのが大好きで、よく付録付きのテレビ雑誌などを母に買ってもらい、その付録を自分で作って遊んでいました。そんな私が中学生の頃、テレビで放送していた「ガングラム」のプラモデルがハマるきっかけ

ネオン
シリコン製法によるLEDライン
NEW **RTL ラウンドチューブ**
第三弾登場
よりネオン管に近い形状
紫外線に強い…UV耐光3年!

S&D サイン&ディスプレイシリーズ
RTL
STL ストリップチューブライト シリーズ
STL

LED開発・サイン関連資材販売
株式会社 アイ・エス・パートナー
AI-KOUGEI Group
http://www.is-part.com
TEL.03-5917-3680 FAX.03-5926-6423
E-mail:sales@is-part.com

事務局便り

200年続いた「土の時代」から、これから200年続く「風の時代」が2020年12月22日から始まりました。土の時代しか知らない現代人にとって風の時代がどのようなものか不安でもあり、見えない力が発揮され物(者)に囚われず形のない自由な意識で生きる風の時代が楽しみでもありますが、東日本大震災から10年、昨今の想定できない自然災害や世界中に脅威をもたらした新型コロナウイルス、自然界の見えない力によるイタズラや試されごとの困難が続いていますが、耐え難きを耐え、忍び難きを忍び、もって万世のために太平(平和な世の中)を開かんと欲すと行きましょう。

事務局員 小野寺 美智代

宮城



「短歌」とわたし

宮城県屋外広告美術協同組合 理事・啓発事業委員長 今泉 信吾
(株式会社美研)

令和になり三年目、丑年の新年を迎えました。

牛は勤勉によく働く姿が誠実さを象徴し、また縁起の良い身近な動物で、神の使いとして祀られているそうです。世の中は今年もコロナウイルス問題の話題が絶えません。丑年にあやかり、縁起の良い年になるよう期待したいです。

さて、私の楽しみのひとつに短歌があります。短歌を始める切っ掛けとなったのは、ある病院の院長でもある先輩から「短歌の会の会員を募集しているから君もやってみないか」という突然の誘いでした。曖昧にして返事もしないまま一週間が過ぎた時、自分宛に短歌の月刊誌と申込書の入った封書が届きました。先輩に返すわけもいかず、そのまま、一ヶ月に二首提出するというルールの下で短歌づくりを始めることにしました。

これまで短歌に接する機会もなく興味があったわけでもなく、全く別世界のものだったので知識もありませんでした。そうこうしてうちに、月末の提出日がせまってきました。テーマは何にしようか、五・七・五・七・七にうまく収まらない、語呂が悪い、どんな言葉がいいのか。言葉の表現の難しさを痛感しました。「やるっきゃない!」と初めて

詠んだ短歌は平成二十五年三月十日の…

「夜明け来た

起床合図のスズメ鳴き

エサ待つ君へ米のご褒美」

「待ちわびて

帰宅を歓迎シッポ振る

愛犬ナナに疲れ忘れる」

恥ずかしい限りですがこの二首を初投稿しました。

歌を詠む時、どんな些細なことも目の前にある全ての事がテーマになります。たとえば、春夏秋冬の四季には、その中の二十四の気という季節、七十二の候という季節があります。こまやかな季節の移ろい、季節それぞれの風物詩や折々の行事や祭り、お天気や野に咲く花、旬の食べ物など、季節を感じるテーマだけでも身近なところになくさんのネタがあります。

他にも、仕事の事、人との関わり、成長や老い、時には事故や災害、そして家族のことなど日常生活の中にたくさんあることに気づきます。

ふと触れたことや感じたことを短い文字に表す時、そのことについてもっと深く見つめることが出来、美しさは更に美しく優しさはもっと優しく感じます。これからも短歌のある生活を通して感性を刺激していこうと思っています。



〈夏の二首〉

「梅雨明けて

太陽さんさん光射す

緑のカーテン葉陰オアシス」

「まだ夏の

盛りと言うに虫たちの

秋の調べよ季節が走る」

〈秋の三首〉

「柿の実の

枝もたわわにオレンジの

雪洞に見ゆページェントに見ゆ」

「庭先に

BGMかやコオロギの

声心地よく秋への序曲」

「秋深し

放射冷却朝冷えに

妻のコーヒー湯気の香ひとしお」

※事務局便りは10ページに掲載しています。



MARUWA SHOKAI

スリーエムジャパン株式会社 特約加工販売店

株式会社 丸和商会

〒321-0921 栃木県宇都宮市瑞穂 3-5-14

TEL: 028-656-3611

東京・高崎・郡山・仙台・秋田・青森

http://www.maruwashokai.co.jp

～先端新規ビジネスへ その開発思想は果てしなく～

東北藤光株式会社

www.t-tohkoh.co.jp

●各種看板資材取扱店●

〒983-0025

宮城県仙台市宮城野区福田町南1丁目2-46

TEL: 022-254-0611

FAX: 022-254-0608

令和2年度各県第7回タウンミーティング開催状況

あおもり屋外広告タウンミーティング



実施日:10月16日(金)13:00~18:00
実施場所:黒石市内
会議会場:黒石市大字中町「松の湯交流館」

実施内容:オリエンテーション→まち歩き

参加者:行政担当者、組合員 計11名

岩手広告景観タウンミーティング



実施日:10月31日(土)13:30~17:00
実施場所:盛岡市八幡町・河南町地区
会議会場:盛岡市河南公民館3階和室

実施内容:オリエンテーション→まち歩き→ワークショップ→講評

参加者:行政担当者、地域関係者、組合関係者 計28名

山形広告景観タウンミーティング



実施日:12月4日(金)13:30~17:00
会議会場:山形ビッグウイング

実施内容:新たなタウンミーティング開催への模索

参加者:組合関係者 計18名

宮城・広告景観タウンミーティング



実施日:10月9日(金)12:00~17:00
実施場所:①点検見回り…大崎市古川地域3エリア
②高所作業車利用点検…JR古川駅前大型観光サイン
会議会場:大崎市合同庁舎1階大会議室

実施内容:オリエンテーション→点検見まわり+高所作業車点検見学→意見交換会→発表→講評
参加者:顧問、行政担当者、地域関係者、宮城県立仙台高等技術専門校サインデザイン科、組合関係者 計46名

●秋田県でのタウンミーティングは未開催

●福島県はコロナ禍により中止

地区連・宮城県事務局便り

いまだ世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るっています。今年百二十四年ぶりに二月二日が節分。思わずコロナ外、福は内と豆まきする手にも力がこもりました。皆さんもコロナの一日も早い収束を願わずにはいられなかったのではないのでしょうか?!

ところで、人生には二つの坂があると言いますが、上り坂・下り坂・そしてまさかの坂。まさしく今が「まさかの坂」ですね。しかしながら「雲の上」には、いつも太陽が

輝いている」という言葉があるように、今は雲がかかっているだけで、その雲が去ると太陽が再び輝きます。また、コロナ禍に終止符を打つべく世界の研究者も新型コロナウイルスには紫外線やオゾンが有効等、次々と研究成果の論文を発表されています。
とにかく免疫力を高めウイルスと賢く向き合って、この試験の曇天を乗り越えていきましょう! 本年もどうぞよろしくお願いいたします。

事務局員 秋葉久美

令和二年はウイズコロナの時代の始まり。新時代はいつでも心弾むものと思っていました。年を超えてもなお、目に見えない敵との戦いは続く様子。終息が待ち遠しい...

そのような中、組合員事業所内でも大なり小なり打撃を被っており心配は尽きません。とはいえ、この業界の「業確立」が難しい理由に「多種多様に亘る業種の知識や技術が必要な仕事」であることが挙げられていました。器用で柔軟な思考回路の持ち主の集団であることは間違いないものと思われ。ウイズコロナの時代も新しい感覚で試行錯誤を重ねながら生き抜けるものと確信しています。今は感染対策を徹底し、体力温存しつつ乗り切ってください。いと切に願っています。

事務局も予定通りにならない日々結構苦戦してはいますが、密にならない二人勤務の環境です。とはいえ、マスクは必需品。早く「目」で物申す生活から解放された思いは募るばかりですが、ここは焦らず無理せず健康第一で乗り切ってください! 今年もよろしくお願いたします。



3シーズン目...

事務局長 高橋ちよ子

2020年度屋外広告士試験実技対策事前講習会

令和2年9月26日は、屋外広告士試験受験者対象の第3回目となる実技(デザイン・設計)対策講習会が仙台市の宮城県立仙台高等技術専門校の2教室で行われた。第29回屋外広告士試験は10月25日実施され、12月18日に日広連より合否発表が行われ、東北地区での合格者は33名。

《デザインクラス》



受講者15名は、講師の石川 菜々絵氏(宮城県立仙台高等技術専門校広告看板科・職業訓練指導員)のテキストに沿って午前中講義を受け、午後からは実際の試験に近い状態で想定問題に各々が真剣に取り組み規定時間内に仕上げた。

その後、2グループに分かれ、各々が作画したものを手に発表し、設問に沿っているか、色調や書体はどうか等、感じたことを真剣に話し合う時間が設けられた。

さらに石川氏からは、それぞれの作画を基に優れている点や注意すべき点等についての指導が行われた。

《設計クラス》



受講者4名は、東北地区連副会長で青森県組合理事長の木村光徳氏の指導により、午前中の講習は、プロジェクターを使用した過去問題の解説指導が中心に行われ、午後からは、木村氏の準備した問題を4名それぞれが実際の試験さながらに真剣に解き進め、アドバイスを受けながら設定時間内で書き上げた。

最後に回答を含めた解説と試験時に注意すること等の説明を受け、本番まで多くの過去問で練習するようこの指導があり講習会は終了した。

*専門業者として生涯活かせる資格である「屋外広告士」試験合格を目指して受験者には、東北地区連が実施している全国でも数少ない実技(デザイン・設計)試験対策事前講習会を是非活用し、試験にチャレンジしていただきたい。

屋外広告物安全点検技能講習会2020年

今年度は2回実施する予定にしていた「屋外広告物点検技能講習会」であったが、新型コロナウイルス感染拡大予防の為に7月の盛岡市会場での開催は中止とし、11月14日の仙台市会場のみ予定通り行い、当日は49名が受講修了している。

東北6県内でも一部の県や行政市を除き大方が「屋外広告物」の事故を未然に防ぐ為、点検部分の条例改正が施行されており、点検に関わる資格の一つとして、屋外広告士や広告美術技能士等と共に点検技能講習会修了者が認められている行政も多くなっている。

そのようなことから、条例改正後に更新時期を迎える多くの広告物所有者は、条例変更による点検報告書や管理者の必要性を初めて知り、組合事業所も含めた専門業者への相談や依頼等が増えていくものと思われる。

そのため、今後は専門業者として「点検や管理」に関する資格保有は必須であり、さらに点検後もより責任が増すものと思われる。同時に広告物所有者に対してはこれまで以上に「安全や責任」に対する意識強化の働きかけを行うことも重要になると思う。

なお、令和3年度の「屋外広告物点検技能講習会」は、6月に盛岡市、11月に仙台市での実施を計画しているが、コロナ禍での感染状況等も踏まえ人数制限等を行いながら実施することになると思う。東北6県所属組合員へは日広連から開催案内が届くので、受講申し込み締切日を厳守の上、直接日広連へ申込み手続きを早めに行っていただきたい。

仙台市シルバーセンター 6F 第2研修室での講習風景



現場作業前には、クニフスでリーダーを決めKYを行います



900角のアルミ複合板の校名看板の製作をしています



宮城県立仙台高等技術専門校サインデザイン科の写真



編集後記

会員・関係者の皆様におかれましても、昨年初めからの新型コロナウイルス感染拡大、それによる経済活動・生活様式の変化により、だいぶ業績の影響を受けておられる事と思います。

昨年は例年紙面を賑わしております『東北六県公共キャンペーン作品展』や東北大会(総会)などほぼすべての行事が中止となりましたので、例年とは紙面構成が少し違っております。

その代わりと言うわけではないのですが、当業界の後継者育成機関でもある「宮城県立仙台高等技術専門校のサインデザイン科(旧広告看板科)」を特集しております。是非、全国でも数少ない「看板(サイン)科」のある学校としてご承知いただければと思います。

最後に、コロナ禍が早く収束し、今までの生活様式に戻れますよう祈念致します。

編集・製作 木村 光徳 啓発事業委員長 藤田 健一郎